

★★6月定例会での一般質問は  
「義務教育学校整備事業の事業費用と今後の住民サービスについて」★★

若林かずみ「さて、太郎君。今、王寺町には5つの小中学校があるけど、これを2つに統合して義務教育学校にする計画が進んでいるのは知ってるかな？」

太郎君「なんか、聞いたことあるけど、そんなに関心もないし…」

若林かずみ「ま、そんなもんかな～。じゃあ、義務教育学校を整備するのに減茶減茶お金がかかって、今後、住民サービスがどんどん低下したとしたら、どうする?? 無料だったものが有料になったりとか…」

太郎君「えーっ! それは嫌だ～～。急に気になってきた～」

若林かずみ「ふふふ…。興味を持ってくれたようですね(笑)。義務教育学校を整備したからといって、住民サービスが低下するとは限らないんだけど、『もしも?』『まさか?』という感じで注目し、チェックするという姿勢は大切です。義務教育学校整備事業については、お金の側面だけが問題ではなく、その内容も重要な問題なんですけど、今回は、特にお金の面にスポットを当てて、考えてみましょう。」

★★まず、基本用語を整理します!★★

今回の一般質問では、義務教育学校整備事業の財政面に関する質問に理事者(※議会用語の「理事者」とは、簡単に言うと、会議に説明者として出席する町長・副町長・教育長・各部長職の職員などを指しています。)に答えていただきました。どのような答えをいただいたかを説明する前に、まず、基本的な用語を説明しますね。

学校の校舎や設備が古くなってきたときに、対応する方策としては、主に3つあります。

- 大規模改修
- 長寿命化
- 建替え

☆「大規模改修」というのは、建物の物理的な不具合を直して、元に戻すもの。

☆「長寿命化」というのは、建物の物理的な不具合を直すだけではなく、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げるもの。

☆「建替え」とは、一般的な意味通り、現在の建物を潰して、新しい建物を建てるというものです。

王寺南小学校と王寺南中学校については、大規模改修して、施設分離型の義務教育学校。

他方、王寺小学校、王寺北小学校、王寺中学校については、これら3つを統合して、王寺中学校がある場所に施設一体型の義務教育学校を整備することとなっています。

●南側の義務教育学校は、なぜ「大規模改修」なのか。

☆かずみコメント☆  
南側については小学校も中学校も築年数が浅く、長寿命化改修の国庫補助要件にも該当していないことから、「大規模改修」して、施設分離型の義務教育学校をスタートさせようということになっています。

●北側の義務教育学校は、なぜ、「大規模改修」や「長寿命化」ではなく、3校を統合して新しい建物に「建替え」するのか。

☆かずみコメント☆  
北側については、王寺小学校や王寺中学校は長寿命化のタイミングも外しているし、だからと言って、王寺北小学校だけ残すというのも…。そして、長寿命化改修の場合、設計及び施工上の制約が多く、間取りを変更するのに大きな制約があり、また、王寺小学校は片岡王寺の遺構がある埋蔵文化財の包蔵地で発掘調査に10年余りが必要なため、王寺町文化財保護審議会の答申では現地改修困難とされている等の理由により、3校を廃校にして1つに統合し、施設一体型の義務教育学校でスタートしようということになっています。

★★「義務教育学校整備事業をした場合」と「しない場合」との王寺町の負担の違い★★

先程、「国庫補助要件」という言葉が出てきました。国庫補助が受けられれば、国からお金が支出されるので、その分は、王寺町が負担しなくてもよくなります。このように、「100億の費用がかかりますよ!」という場合でも、その100億円の全てを国からの補助で賄えるのであれば、何の問題ありません。そこで、実際には、義務教育学校整備事業のうち、どのぐらいの金額が国からのお金で賄えるのか、王寺町がどのぐらい負担するのか、その内訳が重要です。



義務教育学校(北)の建設が予定されている王寺中学校

★では、まず、「現状の3小学校2中学校の体制を維持した場合に町が負担すべき費用」と「義務教育学校整備事業を実施した場合の総事業費用」との差について

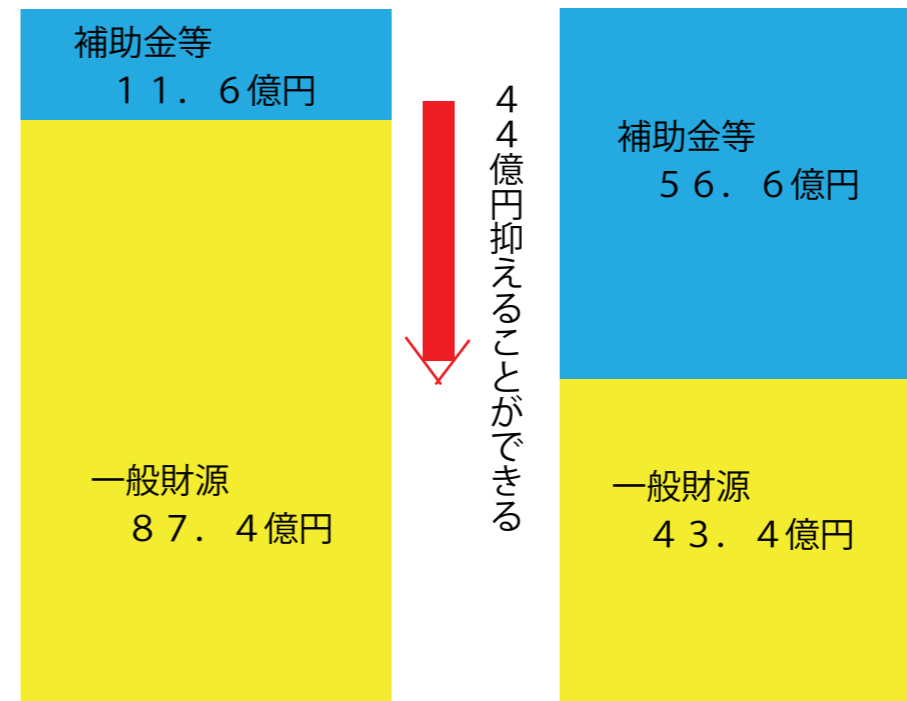
☆かずみコメント☆  
理事者の回答によると、「現状の3小学校2中学校の体制を維持した場合に町が負担すべき費用」についてですが、王寺小学校・王寺中学校については改築、王寺北小学校については長寿命化改修、王寺南小学校・王寺南中学校については大規模改修が必要となり、その総事業費は約99億円が見込まれます。他方、「義務教育学校整備事業を実施した場合の総事業費用」は約100億円ということですので、事業費だけを見ると、ほぼ変わりはないということですね。



現状の3小学校2中学校の体制を維持した場合の総事業費→約99億円

義務教育学校整備事業を実施した場合の総事業費→約100億円

★では、これらの事業費のうち、王寺町が負担することとなる一般財源はどの程度か。



☆かずみコメント☆  
理事者の回答によると、義務教育学校整備事業の方が国からの補助金や交付税が多く得られることから、義務教育学校整備事業を実施する方が王寺町の一般財源からの持ち出しを約44億円抑えることができるということです。費用面では義務教育学校整備事業を実施する方がお得ということですね。